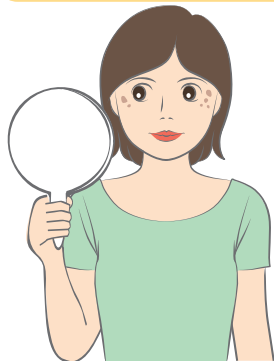


隠し切れない顔のシミが気になります  
“老人性色素斑”の判別後に治療開始を  
立川皮膚科クリニック  
www.tachikawa-derma.com

老人性色素斑の症状



「老人性色素斑と似ている疾患に基底細胞がんや悪性黒色腫があります。特に悪性腫瘍の疑いがあれば、治療を始める前に皮膚組織の組織検査を行います。老人性色素斑の治療をと思ったら、まずは皮膚科を受診しましょう」

「老人性色素斑の治療の注意点は？」

「レーザー照射で治療します。自由診療で、当院では1mm3000円で行っています」

「治療方法は？」

「日光に長期間当たったことにより、皮膚の表皮のメラニン細胞が活性化して過剰なメラニンを作り出す。日光が長期間当たる部分にできやす。顔面以外には手の甲、うでの前面などできま。今できているシミは、若いころから紫外線に当たっている影響が出ているということです」

顔にシミができて、年を追うごとに目立つようになると、日光(紫外線)に多くなることがあります。ファンデーションなどのお化粧品では隠し切れなくなるシミについて、日本皮膚科学会認定皮膚科専門医、立川皮膚科クリニックの伊東秀記先生に聞きました。

「顔のシミについて教えてください」

「日光に長期間当たったことにより、皮膚の表

「原因は？」

「顔面の、特にほおや頬のメラニン細胞が活性化して過剰なメラニンを作り出す。日光が長期間当たると、顔面以外には手の甲、うでの前面などできやす。今できているシミは、若いころから紫外線に当たっている影響が出ているということです」

院長:伊東秀記  
日本皮膚科学会認定皮膚科専門医、東京慈恵会医科大学医学部卒業、東京慈恵会医科大学皮膚科非常勤講師



休診日: 日曜、祝日

診療受付時間	月	火	水	木	金	土
9:30~ 13:30	○	○	○	○	12:30まで 受け付け	○
15:00~ 19:30	○	○	○	○	18:30まで 受け付け	17:30まで 受け付け

2017年12月9日付 「リビング多摩」に掲載されました